

大窪自治会だより

2024.3 発行

大窪町内自治会

今年度を振り返って

大窪町内の皆様には、お健やかな毎日をお過しのこととお喜び申し上げます。平素より大窪自治会に対しご協力ご支援をいただき厚く御礼申し上げます

令和二年一月、新型コロナウイルス感染症が確認され、収束しないままの令和五年五月、感染症五類に移行し行動制限の自粛が緩和され、大窪自治会の年間行事も計画どおり実施できました。

特に、四年ぶりの納涼祭・もちつき大会は多くの地域の皆さんの参加により楽しい日となりました。又、一斉清掃(春・秋)・町内草刈・花植え作業等町内会の皆様のご協力により計画どおり実施できました、厚く御礼申し上げます。

高平台校区においても夏祭り・どんどや・各種団体の行事等四年ぶりに開催されました。各行事の実施にあたってご協力頂きました皆様、町内地域の隣保組長様には、大変お世話になりました。

今後とも地域の皆様との連携により地域の活性化と安全・安心な町づくりに努めて参ります。令和六年が町内の皆様にとって、良き年と成りますようご祈念申しあげます。

令和六年三月吉日

大窪自治会

会長

森田仁徳



町内草刈り 10月21日(土)



自治会総会 4月23日(日)



廃品回収 5月14日(日)



子供会と自治会により植えられた花

令和 5 年 8 月 19 日（土）

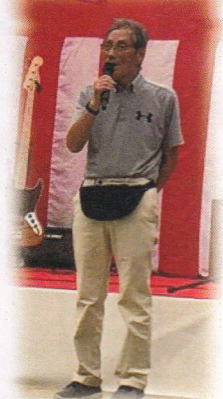
大窪納涼祭



KM バイオロジクス
永里社長のご挨拶



ボランティアバンドの演奏



森田自治会長



大勢の人の参加

食べ物コーナーに並ぶ人達



じゃんけんゲーム



おもちゃコーナー
人気です



納涼祭最後の掃除

令和 5 年 12 月 17 日(日)

餅つき大会



パパ達頑張ってるね



もちつく順番を待っています



お世話係は大変です



つきあがった餅を丸めます



前日の準備している様子



杵の手入れも欠かせません



出来上がり！

私たちが暮らすまち
「大窪」をサルク！

大窪の旧跡を訪ねて

今回は、「大窪年の神」と「大窪菅原神社」を訪ねます。

【大窪年の神】

飛田バイパスのファミリーマート交差点から櫛山地区に入り門町方面に抜ける途中の道路沿いに大窪年ノ神が祀つてある。肥後国神社明細帳に「神石に鎮座。従来路傍の雑社タリ」と記されている。

昭和四十五年にブロックで建てられたものであるが、それまでは年に1度祭りの日に作られる藁（わら）の屋根がついてるだけのものだった。

創立は不明だが、御神体は陰陽をかたどる安山岩自然石が2つ並列して建っている。

この神は、作物を稔らせたり、山を守ったりする神で、田の神とか、山の神とか呼ばれてきた。春になると年ノ神のほこらに集まって、作物がよく稔るようにお願ひしたり、日照りが続いて田んぼに水がなくなると雨乞いの祈りをしていたそうだ。年末になると屋根が葺き替えられ、甘酒がそそがれる。



大窪年ノ神

【大窪菅原神社】

向地区から大窪公民館に向かう途中に大窪菅原神社がある。創立は不明であるが、明治九年教部省37に「祭日十一月二十五日、神木二鎮座、従来路傍ノ雑社タリ。」と記されていて、戦後は熊野神社の摂社（その神社の祭神と縁故の深い神を祀つた神社）のような形になっている。神社と言えるような社はなく、石の祠（ほこら）がある。

現在、祭りは行われていないが、昔は向地区の組約40戸（当時）の家で祀っていたと言われている。



大窪菅原神社

【参考文献】

熊本市北部地区文化財調査報告書
熊本市内祭り・郷土芸能調査報告書
角川日本地名大辞典 熊本県
肥後国誌

寄稿

大窪自治会副会長 大谷賢二